

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2-10-15
評価実施期間	令和7年6月2日 ~ 8年2月5日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	東あびこ聖華保育園 ヒガシアビコセイカホイクエン		
所 在 地	〒270-1144 千葉県我孫子市東我孫子1-9-31		
交通手段	JR成田線 東我孫子駅 徒歩3分 JR常磐線 天王台駅 徒歩13分		
電 話	04-7183-3165	FAX	04-7197-3323
ホームページ	http://higashiabikoseika.com		
経 営 法 人	社会福祉法人 樹		
開設年月日	2021年4月1日		
併設しているサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育・園庭開放・マイ保育園事業 ・赤ちゃんステーション ・部分統合保育 ・AED 		

(2) サービス内容

対象地域	我孫子市在住者								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	12	20	22	22	22	22	120		
敷地面積	1926.00㎡			保育面積			585.89㎡		
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	身体測定(毎月)・内科・歯科健診・日々の健康観察								
食事	完全給食(月~金) 食物アレルギー除去食の提供有り								
利用時間	7:00~19:00(月~金)・7:00~18:00(土)								
休 日	日曜・祝日・年末年始								
地域との交流	幼保小連携・園庭開放・中学生職場体験								
保護者会活動	なし								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		24	13	37
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	29		1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		委託(7)		

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	当園にて空き状況を確認の上、我孫子市役所子ども部保育課、もしくは園に直接お申し込みください。		
申請窓口開設時間	月曜日から金曜日（祝日除く）・午前9時～午後17時迄		
申請時注意事項			
サービス決定までの時間	入園決定者には、保育実施希望月の前月中旬頃に我孫子市役所子ども部保育課より通知があります。		
入所相談	入園に関する問い合わせは我孫子市役所子ども部保育課まで、空き状況や園生活に関することについては保育園までお問い合わせ下さい。		
利用料金	我孫子市の基準により世帯の所得税や市民税の課税額などによって決められます。		
食事料金	3歳以上児のみ主食費、副食費合わせて6700円		
苦情対応	窓口設置	苦情受付担当者	浅野 純子 (主任)
		苦情解決責任者	高橋 由梨 (園長)
	第三者委員の設置	2名 園内に掲示	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する ・健全な心身の発達を図ることを基本に、遊びを通して心身の発達を援助する ・愛情豊かに一人ひとりと触れ合う <p>【保育目標】</p> <p>「丈夫な体」「広い社会性」「豊かな情操」「確かな基礎能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく食べ、よくあそび、よく寝て、健康で明るい子どもを育てる。運動遊び、散歩、園外保育等でたくさん体を動かし、又、食育や保健教育にも力を入れる。 ・将来、子どもたちが社会で円滑に人間関係を築き維持できるよう、愛情あふれる コミュニケーションを通して、協調性や思いやりの心を育てる。 ・多くの本物の体験にふれながら、小さな感動を積み重ねることによって感性を磨く。 ・誕生から就学までの長期的視野を踏まえ、表現や制作、基礎能力形成、就学前教育など、発達の道筋が持てるようにする。
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平屋建ての園舎は開放感があり、どのクラスの様子も見通せる保育環境となっています。また、園庭は体育活動など伸び伸びと楽しめる広さがあり、子どもたちの遊びの幅が広がります。 ・我孫子の豊かな自然環境の中で四季を感じ、様々な遊びや体験を通して、友だちや保育士と喜びや達成感を味わいながら、共有、共感することで、豊かな感性や社会性を養い、生きていく力を育みます。 ・乳児期では子ども一人ひとりの思いに寄り添った、丁寧で応答的な関わりを大切にしています。また、幼児期では自分たちで考え工夫しながら、遊びや活動が展開できるよう見守り、主体性や社会性、自己肯定感の育ちに繋げています。
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東我孫子駅より徒歩3分、住宅地の中にあり自然に恵まれた静かな環境の保育園です。 ・聖華グループの合言葉「Smile Enjoy Imagine Kind Active」をモットーに「笑顔で 楽しく 想像力豊かに 思いやりの心で 活発に」子どもや保護者の皆様、職場の仲間と関わり、明るく元気な雰囲気とチームワークあるクラスづくり、園作りを目指しています。 ・3歳児より、異文化に触れる経験や体を動かす楽しさを味わうことを基本に、週1回、専門の講師を招いて英語や体育指導を行っています。また、就学前教育や科学あそび等、適時期に適切な教育を行い、養護と教育をバランスよく取り入れた保育を目指しています。 ・四季折々の伝統行事に触れることにより、豊かな心を育てます。 ・保護者の方々とのコミュニケーションを大切にしています。 ・ICTシステム「コドモン」を活用して、お子さまの園での様子を日々の連絡帳や保育活動の様子として配信したり、送迎時にお子様の日々の様子を伝え、一緒に成長を喜びながら信頼関係を築いています。また、相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、安心してお仕事ができるように、子育てのサポートに努めています。 ・給食は外部業者に委託していますが、自園で調理し提供しています。アレルギー児には除去食で対応しています。栄養士による栄養相談も随時、受け付けている他、食育活動にも力を入れ、季節に応じた様々な食材に触れ、クッキング等も行っています。また、バラエティ豊かな行事食や手作りおやつを提供しています。 ・園のホームページでは、保育方針や施設紹介、日常の保育の様子等、情報の発信を行っている他、災害時にはメールにて安否情報を発信する態勢をとっています。 <p>東あびこ聖華保育園ホームページ https://higashiabikoseika.com/</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント
東あびこ聖華保育園

特に力を入れて取り組んでいること

1. 全職員で理念や目標を共有し、豊かな経験活動を通して子ども主体の保育を目指している

平屋建ての開放感のある園舎内は手作りの物が多く、年齢の発達や興味に応じたコーナーでじっくり遊ぶ環境がある。また園庭ではのびのびと体を動かして遊び、近隣の公園等で四季を感じる散歩も出来る。行事は日々の積み重ねを大切に、楽しい経験活動の機会が多くある。クリスマスでは一緒に飾り付けをし、サンタからの手紙に子ども自ら返事を書いたりしてワクワクする体験を積み重ねてきた。職員は研修等を通して園の理念や保育目標「丈夫な体」「広い社会性」「豊かな情操」「確かな基礎能力」を共有し保育を進めている。英語・体育指導・就学前教育・不思議発見教室等の一斉活動は3歳以上児クラスで定期的に取り入れられ、食育や保健指導も大事にしている。職員は一緒に遊ぶ中で子どもの姿に寄り添い、環境を整えながら主体的に取り組めるよう援助しており、この積み重ねは子どもの心身の発達に寄与している。

2. 日頃から保護者とのコミュニケーションを重視すると共に、きめ細やかな情報配信を継続し、保護者との信頼関係を構築している

0・1歳児クラスは、アプリの連絡帳機能を活用し、日々の生活状況や成長の様子を丁寧に伝えると共に、保護者と双方向のやり取りをおこなっている。2歳以上児クラスは、ドキュメンテーションを配信し、クラスの様子を視覚的に分かりやすく伝えている。また、毎月の園だより・食育だよりに加え、クラスだよりを配信し、写真を載せながらクラスの取り組みや子どもの育ちを具体的に伝え、保育への理解も深まるよう努めている。保育参観や運動会等の行事終了後にはアンケートを実施し、保護者満足度の把握と改善点を確認し、得られた意見や要望については職員間で共有・検討し、次年度の取り組みに反映させる等、継続的な質の向上に努めている。今回実施した第三者評価の保護者満足度調査においては、「満足」「大変満足」を合わせて96%と極めて高い評価を得ている。日頃から保護者とのコミュニケーションを重視し、相談しやすい雰囲気づくりに努めると共に、寄せられた意見や要望には迅速かつ適切に対応する体制を整えている。これらの取り組みを園全体で継続することにより、保護者との信頼関係が着実に構築されていることがうかがえる。

3. 理念・方針を実践し、働き甲斐がある働きやすい職場づくりに努めている

理念・方針を実践し、子どもの成長や保護者の喜びを共有し、仕事のやりがいを大切にしている。職員一人ひとりの役割と責任を明確にし、人事考課表の個人目標をもとに、面談をおこない個人の成長や困っていることを確認し、頑張っていることを評価することでモチベーションの向上に繋げている。運営面では副主任・クラスリーダーの役割を明確にしてチーム力の向上に努め、ゆとりある職員配置、ICT化による事務負担の軽減、有給休暇取得配慮、定時勤務終了努力、育休復帰、相談し合い助け合うチームワーク、職員の創意工夫、主体性の尊重など働き甲斐があり、働きやすい職場づくりに努めている。

4. 職員はヒヤリ・ハットの重要性を十分に理解し、組織として事故防止に向けた取り組みを積極的かつ継続的に推進している

園長は、日常の中には多くのヒヤリとする場面が存在することを職員に繰り返し伝え、その重要性について継続的な意識啓発をおこなっている。これを受け、職員は子どもの行動や環境を丁寧に観察し、職員間での話し合いを重ねることで、ヒヤリとしたことに気付く視点を養ってきた。現在では、ヒヤリ・ハットを毎日入力することが職員の業務として定着している。特に共有が必要な事例については、毎月の全体会議において、各クラスの保育状況と併せて報告し、情報の共有と再発防止に向けた検討をおこなっている。こうした継続的な取り組みにより、職員の安全に対する意識は高まり、子どもの行動を予測し、怪我につながる可能性のある状況を未然に防ぐ対応が図られるようになってきている。その結果、怪我の発生件数の減少にもつながっている。職員はヒヤリ・ハットの重要性を十分に理解し、組織として事故防止に向けた取り組みを積極的かつ継続的に推進している。

さらに取り組みが望まれるところ

1. 遊びの中で培われる育ちに目を向けながら、さらなる保育の質の向上を期待したい

今年度は子どもの主体性や発達連続性を意識出来るよう、日誌の書き方を学び、日々の振り返りや気づきを大切にしてきた。このことで週の反省や方向付けが次週のねらいに結びつき、連続性を持った保育の展開に繋がりがつつある。今後は遊びの中で育まれる子どもの発達に目を向け、育ちを保障するためにはどんな環境を用意し、どんな職員の働きかけが必要かについて学んでいく事が望まれる。参考資料としては保育所保育指針の非認知能力や幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿があげられる。日誌の中にこの視点を取り入れ、さらに子どもの遊びの夢中度にも目を向ける事で職員の力も高まり、さらなる保育の質の向上が期待できる。

2. 職員は保育の仕事にやりがいを持ち日々励んでいるが、更なる業務の効率化に期待したい

今回の職員アンケートでは職員は「保育の仕事にやりがいを持ち、大切な仕事と納得し取り組み、職員が連携しサポートし合っている」という回答が多く得られた。一方で行事等の見直しやICTを導入しているが、それに伴うデジタル環境の整備等を望む意見も多く、更なる業務の効率化に期待したい。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

第三者評価を受審し、保護者の方や職員の意見、そして多面的に評価していただくことで日々の保育や運営について振り返るとても貴重な機会となり、より課題が明確になりました。高く評価いただいた点や特に力を入れて取り組んでいる点に関しては、園の強みとして引き続き意識して維持できるよう努めていきたいと思っております。また、今後は遊びの中で育まれる子どもの育ちについて目を向け、環境設定や関わり方等学び合い、実践に繋げると共に、職員一人ひとりの主体性を尊重しながら、更なる業務の効率化を図り、保育の質の向上とより働きやすい職場作りの両立を目指していきます。

福祉サービス第三者評価項目（東あびこ聖華保育園）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				☑実施数	□未実施数
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	
		職員の質の向上への体制整備	8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	
			10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示 利用者満足度の向上 利用者意見の表明	11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	
			13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	
			14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み 提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	
			16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	
			18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価 項目別実施サービスの質	19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	
			20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	
21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5		
22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5		
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5		
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。			4		
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。			6		
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。			6		
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。			4		
28 家庭との連携が十分図られている。			3		
29 地域社会との連携が十分図られている。			3		
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。			3		
子どもの健康支援			31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4			
	33 食育の推進に努めている。	5			
5 安全管理	環境と衛生 事故対策 災害対策	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3		
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4		
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6		
6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5		
計				159	0

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>年度初めの全体会議で基本理念や保育方針、保育目標を確認し、意識のすり合わせをしている。園内研修で基本理念・方針・目標を基に各クラスで具体的な取り組みを話し合い、理念に込められた思いや方向性を共有している。新園長として就任2年目、職員が様々なことに挑戦する環境を整え、今回実施した職員自己評価では「理念・方針・目標の共有と実践」の理解・納得度は高く、改善と工夫を重ねながら日々の保育に取り組んでいる。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育理念、基本方針、保育目標はホームページ、保育園のしおり(重要事項説明書)に明示し、入園説明会時に保護者に丁寧に説明している。保護者会や保育参観、個人面談等で保育の取り組みを伝え、園への理解が深まるように努めている。また、運動会などの行事で理念や方針を伝えるなどのほか、園だよりやクラスだよりで毎月クラスの実践事例を紹介し、園が目指している保育を伝え保護者に理念・保育方針を周知する取り組みを積み重ねている。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的の説明し、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>事業計画が策定され、前年度の反省の基に3つの重要課題を職員と共有し取り組んでいる。①保育について、一つひとつの目標や目的、方向性について職員間で話し合い共通理解のもとPDCAを進めていくこと ②キャリアアップ研修を活かせる環境づくりに努め、乳児保育・幼児教育など分野別の職務をより意欲的に取り組めるよう、方向性を共有しながら個々の職員育成に努めること ③風通しの良い職場づくりに努め、リーダー層を中心にさらに意識を高めることである。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組む指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>理念・基本方針の共有と特徴の有る保育プログラム、人事考課制度、個人面談、豊富な研修システム、本部バックアップシステム、有給を取得しやすい勤務システム等充実している。新園長として2年目、職員意見の尊重や、やりたいことにチャレンジする環境を整え、意見が言い易く職員のモチベーションが向上している。また、保護者との信頼関係も高く職員の働き甲斐に繋がっている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人新人研修において理念、社会人の心得、就業規則、倫理規程、保育所保育指針、個人情報保護規定の研修をおこない徹底している。さらに、「人権擁護に関する研修」を実施し、職員間で話し合い意識の向上を図っている。法人のマニュアル「職員ハンドブック」には社会人としての基本、人権を配慮した保育、子どもの人権を守る等の勤務の心得と、プライバシー、個人情報の保護について分かりやすく具体的に示され職員に周知・徹底を図っている。</p>	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人人体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>有給休暇の消化率や時間外労働について園長、事務長、主任が定期的確認就業関係の改善に努めている。組織内の工夫により休暇が取得しやすく、相談しやすい環境を整え、現場の問題点や悩みは、クラスリーダーや副主任が仲介者となり、園長・主任と共有し、必要に応じて個人面談をおこない解決に努めている。福利厚生は行事後の懇親会や有志によるダンスサークル、プレミアム手当、住宅手当等充実している。産休・育休を取りやすく、復職後も園全体で協力体制があり、長く勤めている職員が多い。</p>	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。

(評価コメント)
職務と役割が階層別に「期待する職員像」「求められる能力」として明示され、必要な経験、人材育成計画(担当業務、研修)の分野で評価基準を明示している。職員は「人事考課表」にて理念・使命・価値感、チームワーク等を自己評価し、目標の設定を行っている。さらに「業務遂行度評価シート」を用いて、保育(保育の協応・展開、計画性、人材育成、責任等)、基礎(社会性、コミュニケーション等)を自己評価し、振り返りをおこない園長面談を年2回受け能力向上を図っている。

8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。

(評価コメント)
学校訪問や就職フェアへの参加、実習生の受け入れ、ホームページやSNSを活用した法人のPR活動、ハローワーク、求人広告への掲載等、人材確保に努めている。園見学や実習生の入職が多く、今年度も2名が入職し、明るく前向きに保育の仕事を楽しんでいる。4名の保育補助職員や用務職員の配備など、余裕のある職員体制に努め、職員間のコミュニケーションが良く、働きやすい職場づくりにより離職者は少ない。

9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。

(評価コメント)
中長期の人材育成計画に基づいてキャリアアップ研修計画を作成し、積極的に受講を勧めている。また、東葛支会による「子どもの多様性を理解し、1人ひとりを大切に保育」や市の「ソーシャルスキルトレーニングと社会性を促す集団遊び」等に参加し、研修報告をおこない園全体で共有している。法人研修として新人研修や姉妹園を訪問しての0~5歳児ごとの年齢別研修、運動会研修などを実施し、他園の取組を共有する実践的な研修がおこなわれている。新規職員のOJTは「OJT計画」を基に、クラスの中堅保育士を中心に園全体で丁寧に育成に努めている。

10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。

(評価コメント)
園内研修で「職員ハンドブック」による人権擁護研修をおこない、職員は「保育所における人権擁護等に関するチェックリスト」を実施し、人権を守ることば・接し方に配慮している。ワンフロアでの緩やかな担当制でお互いにチェックし合い、職員会議等で定期的に振り返り人権擁護の周知を徹底している。また、園長・主任・副主任が各クラスの保育を把握し適切なアドバイスをおこなうと共に、職員のメンタル面も考慮し、保育に入りながら配慮が必要なこどもへの援助等に努めている。

11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。

(評価コメント)
入園説明会時に「保育園のしおり」(重要事項説明書)を保護者に配布し、個人情報の利用目的や写真、園だより等の取り扱いについて説明し、書面による同意を得ている。職員に対しては、入職時に個人情報保護規定について誓約書を交わし、書類等の園外持ち出しの禁止やブログ、SNS等の情報管理について周知徹底を図っている。実習生やボランティアにもオリエンテーション時に説明し、周知徹底している。

12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。

(評価コメント)
園玄関に意見箱を設置し、保育参観や夏祭り、運動会、お楽しみ会等の行事後にアンケートを実施し、保護者満足度の把握と改善点を確認し、次年度に活かすように努めている。日々の保護者とのコミュニケーションを大切にし、相談しやすい雰囲気づくりに努め、保護者からの意見や要望には迅速に対応する体制を整えている。今回実施した第三者評価機関による利用者満足度調査では満足と大変満足を合わせて96%と極めて高い評価であった。

13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。

(評価コメント)
「保育園のしおり」に苦情対応窓口、第三者委員と市区町村課名、電話番号を明記し、保護者には入園説明会で周知している。玄関にも同様の内容を掲示している。意見箱を設置し、運動会や発表会後にアンケートを実施し保護者の意見や要望を聞く仕組みを整えている。今回の保護者アンケートでは「苦情の窓口になっている職員を知っていて、言い易いですか」の質問に対して「はい」と回答された方は46%であった。分かり易い掲示の工夫や行事等の機会に繰り返し案内することが望ましい。苦情発生時は園長・主任が素早い対応に取り組んでいる。また、日ごろから保護者とのコミュニケーションを十分に図りその時々の子育て、仕事等の状況に応じてフォローし気持ちに寄り添った関わりに努めている。

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
職員は年2回、人事考課表を用いて自己評価をおこない、それをもとに園長、主任、副主任で事前に課題や目標の達成度を多角的に話し合い、4者面談を実施している。面談では頑張っていることを認めながら振り返りをし、向上につながるアドバイスに心がけている。保育の質の向上に向けての取り組みとしては、日誌の中の振り返りを保育の連続性を踏まえながら翌日や週、月案につなげている。また、毎月園長、主任、副主任が加わる会議で園全体の振り返り、評価をおこない、次月へ繋げるPDCAサイクルを継続している。園の自己評価については、法人のホームページにて公表し、第三者評価評価結果についても保護者や地域に公表する予定である。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
重要事項説明書「保育のしおり」や法人ハンドブックには業務の基本や手順が明記されており、法人ハンドブックは全職員に配布され、いつでも確認できる。新人育成についてもオリエンテーション時等で活用している。また、ハンドブックを会議に持参し、緊急時のスムーズな対応を目指して、緊急ブリーフィングの火災・地震・救命処置等の項目について職員が暗記し、確認する場も設けている。見直しについては、避難訓練等、実際に実施してみて改善点がある場合にはすぐに会議等で確認し合い共有するとともに、年度末にまとめて次年度に繋げている。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
園の情報は園のホームページや我孫子市のホームページ等に掲載しており、ホームページを通しての問い合わせの他、電話での問い合わせにもその都度応えている。電話対応については「電話を取った人が園の顔」という意識を職員間で共有し、対応の際の注意事項について職員ごとに知らせながら丁寧におこなえるよう心がけている。園見学については予約を随時受け付け、主に園長が対応しながら園を回り、利用者のニーズに多い子どもの遊ぶ姿や職員の対応の様子等を見てもらっている。またお渡しするパンフレットをもとに保育内容等を分かり易くお知らせする他、質問事項にも丁寧に応えるようにしている。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園説明会は入園前に、重要事項説明書「保育園のしおり」に沿って、理念や保育目標、保育内容や園のルール、持ち物など、園長、主任、栄養士が具体的に分かり易く説明している。また、質疑応答の時間を設けて不明な点がないようにし、持ち帰って再度よく読んでいただいた上で、同意書に署名捺印して入園時に提出をお願いしている。また「保育園のしおり」は連絡アプリ内にも保存して更新し、いつでも確認出来るようにしている。子どもの状況把握については入園前の面接時に家庭と十分な聞き取りをおこない、「乳幼児面接記録表」に記録している。継続児の保護者に対しては毎年保育方針説明会を実施している。説明会時に出された質問内容等については記録している。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は、保育所保育指針等の趣旨を捉え、法人の保育理念、保育方針に基づいて作成されている。内容については子どもの発達の連続性に注視し、養護と教育が一体となった保育が進められるよう、各年齢ごとに見通しを持った計画となっている。また、園の特徴や地域性等も考慮し、園庭開放や地域独特の行事等も組み込みながら、友好的な関係性のもとで保育を進める姿勢が確認できる。園内研修や全体会議、乳児・幼児会議において全体的計画についての話し合いの機会を作り、職員間で確認をおこないながら共有している。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画をもとに、年間指導計画・月の指導計画を作成している。3歳未満児及び特別な配慮が必要な子どもについては個別計画を作成して保育にあたっている。配慮が必要な子どもへの対応については、年間3回子ども発達支援センターの巡回指導や我孫子市保育課の心理相談員と連携を図り、よりよい関わり方を目指している。計画作成にあたっては振り返りからの見直し、実践を繰り返しながらPDCAを継続している。日々の日誌からは振り返りを次週のねらいに活かし、連続性を意識した活動内容や環境設定に心がけている。			

20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者、職員間でこどもの状況を共有しながら一人ひとりに応じた保育に心がけている。遊びの面では各クラスにコーナーを設置し、発達や興味関心に合わせた玩具や絵本が設定され、自由に手に取って遊べる環境がある。職員はこどもの遊びの様子を見ながら各々がじっくり遊べるよう、ついでで仕切る等の配慮をおこなっている。年長児にはサークルタイムという自分の考えを皆の前で話す場があり、行事の際に話し合っ自分たちで決める等、主体性の育成に繋がっている。職員は楽しく安全な環境作りに意欲的であり、率先して考えながら玩具作りや環境設定に尽力している。</p>		
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>0歳児クラスは緩やかな担当制を取り入れることで、担任との愛着関係の構築や、安心できる環境作りに配慮している。また、できるだけ個別保育も心がけ、1対1でゆったりミルクを飲んだり、絵本を見たり等、応答的に遊ぶ積み重ねを大切にしている。室内環境はこどもの発達状況に合わせて変化させ、ハイハイや歩行が始まった現在は柔らかなマットやクッション、興味あるものに手が届く環境設定をおこなっている。また職員やこどもの動線も意識する事でスムーズな生活を可能にしている。こどもの状況は毎日の中で保護者との連携を密にし、職員間で共有しながら保育中の様子を的確に連絡帳等で伝えるようにしている。</p>		
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。) <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>生活習慣については個々のやりたい気持ちを大切に見守れるよう、見通しを持った時間配分や職員間の連携に配慮している。出来るようになったことは一緒に喜び、さらなる意欲へと繋げている。自我の芽生えの時期の対応やトラブルについては、こどもの思いを言語化しながら共感した上で、少しずつ相手の気持ちやルール等についても気づけるように配慮している。遊びは探索活動や興味のある物でじっくり遊べるよう、場所や内容について考え、遊びごとに分かれたり、コーナーで区切る等の配慮もして友だちと遊ぶ楽しさを伝えている。こどもの状況は午睡時に共有し、保護者に漏れなく伝えられるよう、申し送り表等を活用している。</p>		
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>こども自身が見通しを持って活動できるよう、前もって声かけするなどし、自分で考えて行動できるような環境を整えている。着替える際は裸にならないよう着脱の順番を職員間でも共有して丁寧に知らせるようにしている。就学までを見通した自立への計画をし、状況に応じて配慮しながら出来た喜びや自信を感じられるようにしている。平屋造りの声かけのしやすさ、刺激の受けやすさを利用し、他クラスと一緒に遊ぶ機会を設けながら交流が出来るようにしている。活動では英語や体育あそび、不思議発見教室等の一斉活動の他、クラスやホールには様々な遊びのコーナーがあり、自分で選んで自由に遊べる環境で、色々な刺激を受けながらじっくり遊ぶ子どもの姿が見られている。</p>		
24	身近な自然や地域社会と関わるような取り組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園庭や散歩先で四季の自然に触れながら遊べる環境がある。動植物に触れる機会も多く、今年は虹色クワガタを幼虫から飼育し、成虫になる様子までを観察できた。園にある畑では1歳児から野菜の栽培をおこない、ピーマン・キュウリ・トウモロコシ等水やりなどを通して成長の様子に気づいたり、触ったり、収穫した物を実食したりして色々な発見をする事が出来た。電車を使って姉妹園との交流をおこなう中では交通ルールを学び、近隣の警察や消防署の方からお話を聞いての学びもあった。クリスマスでは飾り付けやサンタへの手紙書き等、当日までの過程を楽しめる工夫がされ、変化と潤いのある保育園生活を送っている。</p>		

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。

(評価コメント)
異年齢との交流を含め色々な友だちと遊ぶ楽しさを感じられるようにするとともに、ルールを守らないと遊びが楽しくないことにも気づけるよう配慮している。生活の場面においても手洗いで順番待ちなど、場面に応じてなぜ守らないといけないのか、考える場面、気づかせる場面を大切にしている。トラブル時においては双方の思いを聞き受け止めながら、お互いの気持ちに気づけるようにしている。4, 5歳児は朝夕の司会や掃除当番があり、役割を果たす喜びが感じられる機会もある。また不思議発見教室で経験した色作り遊びが友だちと一緒に大きな虹を作る活動に広がる等、自主性や協同性を育む取り組みも確認できた。

26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。

(評価コメント)
特別な配慮を必要とする子どもは、個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応をおこない記録すると共に、毎日保育日誌に記録している。また、クラスの一員として同じ経験の中で成長に繋がるよう配慮している。年3回、子ども発達センターの巡回指導と市の心理相談員による定期的な保育相談で指導や助言を受け、園全体で共有している。配慮を必要とする子どもに携わる保育者は毎年、児童発達支援事業所への見学研修や市の研修を受け、スキルアップに努めている。また、保護者の同意のもと、発達センター職員と連携を図り保護者に適切な情報を伝えられるようにしている。

27	保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。

(評価コメント)
クラスごとの申し送り表を作成し、保護者、園からのそれぞれの伝達事項を色分けして記載し、口頭で伝えている。その都度項目に従ってチェックすることで伝え漏れを防いでいる。また、前日の申し送りが翌日の受け入れ時に活かされるよう職員は書面で引き継ぎ、保護者の信頼に繋がるよう努めている。正規職員は年度初めにハンドブックを用いて長時間保育についての確認をおこない、必要に応じてパート職員も研修を実施している。0・1歳児についてはできるだけ部屋を移動せず、安心して過ごせるよう配慮している。利用人数が減る18時半以降から合同し、膝に抱いて絵本を読むなど1対1の関わりを心がけ、家庭的な雰囲気大切にしている。

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。

(評価コメント)
0・1歳児の担任はアプリの連絡帳機能で1日の様子を個別に作成、2歳以上児の担任は保育ドキュメンテーションを作成し、園長・主任・副主任が目を通した上で配信している。また、送迎時には直接保護者と話を子ども様子を伝えている。また、園だより・クラスだよりを毎月配信し、園での取り組みやクラスの様子を知らせている。特にクラスだよりには全員の写真を掲載し、関心を持って読んでもらえるよう配慮している。個人面談や保育参観、保護者会等は定期的におこない、随時保護者の相談に応じる体制も整えている。個人面談の内容については「個人面談の記録」に記載し綴っている。配慮を必要とする家庭には個別に対応し、配布物を渡す際に持ち物や準備品の実物を見てもらう等、わかりやすい説明を心がけている。

29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定子ども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。

(評価コメント)
小学生の「町探検」や中学生の「体験学習」の受け入れをし、地域との交流を図っている。訪問日には町探検に来た小学生のお礼状が、保護者の目に止まるように玄関ホールに掲示してあった。高齢者との交流は感染症が懸念されるため、コロナ禍以降実施されていない。就学に向けては、姉妹園や近隣の保育園との交流、小学校教諭の研修の受け入れ等を通して情報共有や相互理解に努めている。年長児に関わる保育者は幼保小連携会議や研修に参加し、円滑な就学移行に向けテーマに沿った実践に積極的に取り組んでいる。保育所児童保育要録については保護者の了解のもと、小学校へ送付している。

30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。

(評価コメント)
登園時の子どもの健康状態、身だしなみ、保護者と子どもとの接し方等を観察すると共に、子どもの会話や様子から不適切な養育の兆候、虐待の把握に努めている。また、ハンドブック「虐待早期発見のためのチェックポイント」を基に早期発見に努め、疑われる子どもがいる場合には園長、主任に速やかに報告し、記録する体制や、ハンドブック「虐待対応のフローチャート」を基に関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。

31	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保健指導カリキュラム、個々の成育歴、健康管理表等を作成し、心身の健康状態や疾病等を把握し記録している。また、保健指導カリキュラムに沿って子ども自身が健康について意識できるよう、クラスや集会で保健指導をおこなっている。嘱託医による年2回の内科健診、歯科健診を実施し、結果は健康管理表に記載している。毎朝、園長・主任・副主任は各クラスを巡回し、子どもの様子や保護者からの連絡帳や申し送り事項を確認して、担任と健康状態の把握に努めている。保育中の体調の変化や小さな傷などについては日誌に記録すると共に、保護者に口頭で伝えるようにしている。乳幼児突然死症候群(SIDS)に関しては、ハンドブックを用いた研修やDVD視聴を通して知識を周知し、保護者には重要事項説明書「保育園のしおり」に記載すると共に、入園説明会時に必要な情報を提供している。</p>		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>BCPやハンドブックの内容は法人園長会で定期的に見直し、職員に周知している。保育中に体調不良や怪我等発生した場合には、子どもの状態に応じ、速やかに応急手当をおこなうと共に保護者に連絡をしている。緊急時には保護者に連絡すると同時に救急車を要請、それ以外の場合にも保護者に子どもの様子を伝え、必要に応じて怪我の写真を送る等した上で受診の有無を確認し、速やかに対応している。感染症等の発生予防として、ハンドブックや保健所の指導に基づき日々の掃除や消毒に努めている。また、感染症の発生時には、保護者・職員に速やかに「感染症の注意喚起」のメールを配信し感染予防の啓発をおこなうと共に、感染症の詳細について掲示やメールで知識の普及に努めている。子どもの感染、疾病等の事態に備え、保育室から隔離して休養できるよう事務所内にベッドを常設している。事務所内の鍵のかかる棚には救急用品を常備している。</p>		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
<p>(評価コメント)</p> <p>食育活動計画表を作成し、食に興味を持てるよう毎月テーマに沿って食育の会やクッキングをおこなっている。各年齢の月の指導計画にも食育目標を掲げ、取り組んでいる。毎月の給食会議では、クラスの様子・食べ方・食具の使い方・苦手なメニュー(食材)、ヒヤリ・ハット等を共有し、献立や調理をする上での改善につなげている。夏野菜の栽培や収穫、季節の野菜の皮むき、クッキング等を体験することで、食への興味や自然の恵みに感謝する気持ちが持てるようにしている。「給食室を知ろう」の会では普段見ることのできない給食室の中や給食ができるまでの様子を動画で見たり、実際に使っている大きな調理器具に触れ、より食や調理する人への感謝の気持ちが育つようにしている。アレルギー児については医師の指示書に従い、除去食の対応をしている。ハンドブックの「誤食防止のための手順」に従い、確認表・個別トレー・名前と顔写真のプレートを用いて職員間での口頭、指差し等の確認を複数回おこない提供している。</p>		
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育室には温湿度計、エアコン、加湿・空気清浄機、天井扇を備え、室温や湿度を確認しながら調整している。保育室やトイレは掃除項目表に従って掃除や消毒をおこない、清潔な環境を整えている。夏季は、熱中症指数をこまめに確認し、戸外遊びの注意喚起や適切な室温が保てるよう努めている。また、日よけのシェードやテントを活用しながら紫外線や熱中症対策をおこなっている。日々の生活の中で手洗いの歌を歌いながら洗い方を知らせたり、保健指導「風邪予防」では染め出しの実験をおこない、手洗いの大切さを知らせている。子どもが意識して整理・整頓できるように、イラスト等で片付け場所をわかりやすく表示している。</p>		
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>事故発生時には速やかに対応できるよう役割分担し、ハンドブックを用いて研修をおこなっている。食事・睡眠・水遊び中の危機管理対策についてやAED・救命救急の講習・会議ごとに緊急ブリーフィングを実施し、速やかに対応できるように取り組んでいる。受診を伴う怪我については事故発生状況報告書を作成し、事故原因の分析をして再発防止に努めている。園長は、日常の中には多くのヒヤリとする場面が存在することを職員に繰り返し伝え、その重要性について継続的な意識啓発をおこなっている。これを受け職員は毎日ヒヤリ・ハットを入力することで子どもの行動を予測し、怪我につながる可能性のある状況を未然に防ぐ対応が図られるようになり、怪我の発生件数の減少につながっている。不審者対策としては、防犯カメラの設置・門扉の終日施錠・警備会社との契約・警察による不審者侵入や、さすまたの使い方の訓練を受けている。毎月の施設及び遊具安全点検と年3回の事故防止チェックリストに従って安全確認をしている。</p>		

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
BCP安全計画があり、非常災害発生に備えた役割分担や組織図を整備し、毎年見直し職員に周知している。年間非常災害訓練計画に基づき、通報訓練・保護者の引き取り訓練・消防署員立ち合いの総合訓練・避難場所となる近隣施設への避難訓練を実施している。保護者には緊急連絡カードを作成してもらい、引き渡し時に混乱のないようにしている。市の災害マップを掲示し、園周辺の水害時の状況等の把握に努めている。保護者及び職員の安否確認方法は園のホームページ・メールシステム・NTT災害伝言ダイヤルで確認できるようにしている。災害時に備え毎月の避難訓練時にメール配信、年2回災害伝言ダイヤルを利用する機会を設けている。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
市の推進検討委員会や私保連園長会等への参加や市の保育課等と連携を図り、情報の共有をしながら地域ニーズの把握に努めている。地域支援事業として週1回の園庭開放と平日の電話相談を実施している。また、保育園が地域の拠点となり市内に在住する就学前の子育て家庭や出産を控えている家庭の支援を目的とした「マイ保育園事業」を実施し、登録制で年5回、運動遊びやお正月遊びに参加してもらっている。その他、赤ちゃんステーションの登録・AEDの設置・育児相談を実施している。さらに、近隣住民への園だよりの配布や近隣施設との交流を図っている。			